

# 議会だよりの入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No.165

2013年 4月27日

入善町合併  
60年

“きずな”で  
つなごう  
明日への幸せ



## 目次

旧雇用促進住宅を町営住宅に (H25年度予算) 2P

国の補正に伴い事業を前倒し (補正予算) 4P

保育所入所制限の解決を (常任委員会レポート) 6P

町政を問う 代表一般質問 (8議員) 8P

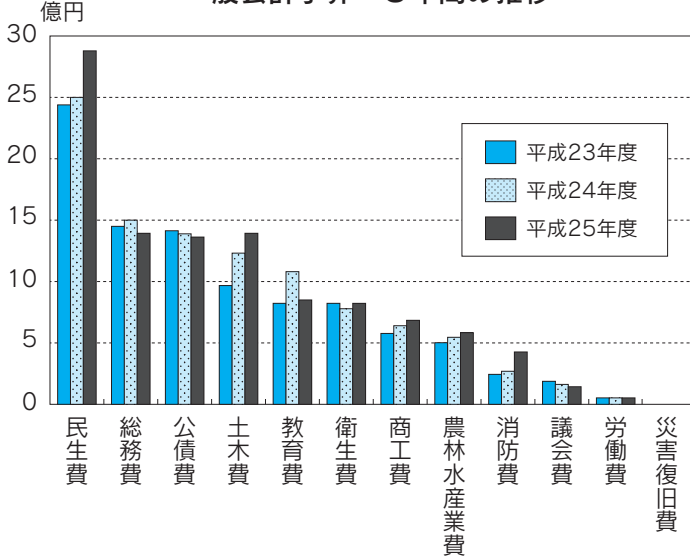
横山の春祭り (入善の祭り) 16P

3月  
定例会

平成25年度  
予算

# 旧雇用促進住宅(入善宿舎)の改修 町営住宅として活用

一般会計予算 3年間の推移



## 新年度予算の特徴

3月議会は、1日から19日まで開催され、平成25年度の一般会計と特別会計予算7件、24年度補正予算3件、条例の制定・一部改正など22件、議員提出議案2件を審議し、すべて可決した。また、陳情4件については不採択とした。

一般会計 104億9千万円  
特別会計 52億1千万円(6会計)

本年度の一般会計当初予算は、前年度より4・3%増の104億9430万円、昨年に引き続き100億円超の大型予算となった。

主なものは、上原・青木統合保育所や消防防災センター、入善南公園の整備、旧雇用促進住宅入善宿舎の改修など、未来のまちづくりに向けた積極的な投資によるものである。

### 主な事業

#### (1) 豊かな水、みどりを守る

- 地下水の利活用と保全についての基礎資料とするため調査する。 300万円
- 小水力発電の調査研究および実用化に向けた実証実験を行う。 860万円

#### (2) 地域資源を活かして

- 町内中小企業の設備投資などに対する支援制度を創設する。 2000万円
- 園家山周辺の湧水や深層水など特色ある水環境を活かした整備構想を策定する。 218万円

#### (3) 快適に安心して暮らせるよう

- 旧雇用促進住宅入善宿舎を改修し、新たな町営住宅として再生する。 2億5170万円
- 消防防災センターの建設に向け、設計・用地取得などを進める。 1億852万円
- 町営バスの3台体制を維持し、定期券を導入するなど、利便性の向上を図る。 4799万円
- 同居や近居を推進するための助成を拡充し、老朽化した空き家解体の助成制度を創設する。 600万円



#### (4) 健康で幸せに暮らせるよう

・高齢者などの買い物対策として、J Aみな穂が取り組む食料品宅配サービス事業に助成する。 348万円

・上原・青木統合保育所の整備を進める。 5億448万円

#### (5) 心豊かな人を育てる

・上青小学校の大規模改修に向け、設計業務を行う。 1580万円

・黒東小学校プールの改修に向け、調査・設計を行う。 290万円

#### (6) 地域コミュニティの活性化に

・飯野、横山両地区のコミュニティ施設建設に向け、設計などを行う。 5554万円

・合併60周年を記念して、式典やNHKのど自慢などの事業を行う。 1605万円

#### 地方債と基金の主な内容は

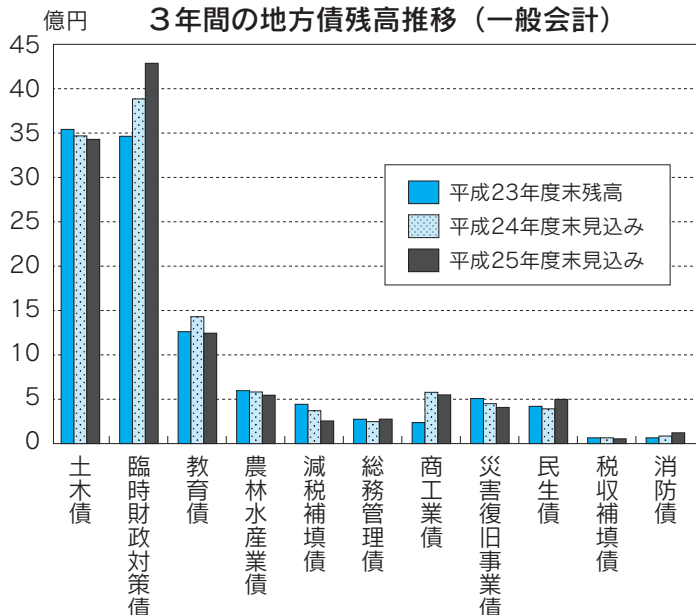
一般会計の地方債(借入れ)残高は、今年度末見込みで、116億7300万円である。

臨時財政対策債とは、地方の財源不足を補てんするためのもので、元利償還金の全額が後年度交付税措置され、いわば交付税の肩代わりといえるものであり、年々増加している。

土木債は、道路関係、旧雇用促進住宅の整備のためのものが主である。

一方、町の主な基金(貯金)残高は、67億5700万円である。その内、財政調整基金は16億1600万円、減債基金が31億8400万円である。

3年間の地方債残高推移 (一般会計)



## 討論

### 一般会計予算

#### 反対討論

松田 俊弘 議員

保育所の職員不足で、子どもの入所が制限される事態が解決されていない。正職員を増やすべきだ。また、学童保育の所管が2つの課に分かれていることは理解できない。

並行在来線運営会社に1840万円拠出する。在来線のJR分離は、赤字部門を地方に押し付けるもの。国とJRが支えていくべきだ。

地方公務員給与を引下げるとして安倍内閣が一方向的に交付税を削減し、町は6200万円の影響をうける。こうしたことは許せない。

#### 賛成討論

元島 正隆 議員

地方公務員給与の引下げを前提とした地方交付税の削減は、行財政改革に取組んできたわが町にとって、非常に残念なことだ。

町当局は、新年度予算を「未来創造予算」と銘打ち、平成24年度補正予算とともに事業の前倒しを積極的に進め、総合計画の将来像に向け着実に計画している。

また、本年は町合併60周年の節目の年であり、さまざまな記念事業が盛り込まれていることも評価する。

決算特別委員会で指摘された学童保育の問題が予算に反映されており、今後に期待する。

賛成12・反対2で可決

# 3月補正予算を可決

国の補正に伴い、25年度、26年度事業を前倒しして予算化した。

一般会計では7億5千万円、下水道特別会計では1億4千万円増額となった。

## 主な事業

### ○ コミュニティ施設整備事業費

3億2413万円

野中地区交流センター(仮称)の建築費など。

### ○ 運動公園等管理運営費

1億310万円

運動公園陸上競技場および野球場を改修する。

### ○ 道路改良舗装事業費

5000万円

切れ目のない公共事業の実施などを目的とした工事費の増額。

### ○ 学校施設維持管理費

6710万円

飯野小学校プールの改修工事を行う。

### ○ 下水道事業費

1億4206万円

国の補正予算に伴う前倒しに係る工事費などを増額する。

## 主な条例の制定、改正など

次の条例案などを審議し、可決した。

・新川地域消防組合の設置に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

新川地域消防組合の設置に伴い関係条例を整理する。

・入善町と新川地域消防組合との間の事務の委託について

町消防団に関する事務などを組合へ委託する。

・入善町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

国の非常事態宣言に対応するために、対策本部を設置するための規定を定める。

・入善町環境基本条例の制定

豊かな環境の保全および創造について基本理念を定め、町、町民、事業者の責務を明らかにするとともに、環境の保全および創造に関する施策の基本を定める。

・入善町駐車場条例の一部改正

西入善駅前駐車場の一部を無料開放する。

・入善町商工業振興条例の一部改正

既存の空き工場の活用を推進するため、工場などの取得により公共的施設の整備を行った場合、助成の対象とする。

## 新川地域消防組合

### 議会議員の選挙

新川地域消防組合設置に伴い、組合議会議員に次の3人が選出された。

野島	浩	議員
長田	武志	議員
元島	正隆	議員



発足した消防組合 (3月30日)

## 議員提出議案

## 陳情

### ● 北朝鮮の核実験に抗議する決議

北朝鮮が核実験を実施したことについて、嚴重に抗議するとともに、今後、核実験関連施設を完全放棄し、再び核実験を実施することのないよう強く求める。

賛成全員で可決とした

### ● 北朝鮮の核廃棄を求める意見書

北朝鮮の核廃棄がなされるよう、国際社会と結束した外交努力を展開し、国連安全保障理事会などにおける新たな決議を求めるとともに、総力を挙げて外交的努力を尽くすよう国に意見書を提出する。

賛成全員で可決とした

年金2・5%の削減中止を求める意見書採択についての陳情

陳情者 全日本年金者組合黒東支部

不況をより深刻にする年金削減の実施を中止するよう、国へ意見書を提出されるよう要請する。

反対多数で不採択とした

生活保護基準の大幅引き下げと制度「改定」計画の中止・撤回を求める陳情書

陳情者 生活・福祉ネットワーク富山準備会

生活保護基準の引き下げと制度の「改定」計画を中止、撤回するよう強く求める。

反対多数で不採択とした

農薬を含むがれきの受入検討中止を求める陳情書

陳情者 山本節子外4人

農薬など有害物質を大量に含むがれき処理の受入検討の中止を求める。

反対全員で不採択とした

災害廃棄物の本焼却中止を求める陳情書

陳情者 川原登喜の

放射性物質などの危険物が含まれた大震災の廃棄物の受入れ中止を求める。

反対全員で不採択とした

### 監査委員の選任

3月16日で任期満了となる監査委員に、米澤憲二郎氏を引き続き選任することに同意した。

(任期は3月17日から4年間)

米澤 憲二郎 氏

(入膳)

### 固定資産評価審査委員会委員の選任

3月19日で任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に、愛場巖氏を引き続き選任することに同意した。

(任期は3月20日から3年間)

愛場 巖 氏

(舟見)

# レポート

## 総務 常任委員会

### 保育所の入所制限の 根本的解決を

**Q** 出産で育児休業取得した場合、3歳未満の上の子の退所を求められるケースがいまだに続いている。

根本的な解決の姿勢が見られない。

**A** 国の制度に準じて対応している。

家庭で保育ができないという状態をどのように判断するか、ケースによって弾力的に取組みたい。丁寧な状況を聴くよう指導している。

**Q** 今後の保育所運営で保育士はどれだけ必

要か。

臨時保育士が4割であるのは、いびつであり頼り過ぎだ。

**A** 基準として、4〜5歳児では30人に1人の保育士、3歳児では20人に1人、1〜2歳児は6人に1人、0歳児は3人に1人であり、現状では103人の保育士が必要となる。

0歳児が途中で入所すると、保育士の確保が困難となる場合がある。

### 職員の資質向上策は

**Q** 正規職員を削減し臨時職員が増えていく。職員の資質向上が求められるが、職場研修の実態はどうか。

**A** 今後の職場のあり方を心配している。従来、職員間の会話が少なかった。現在は、会話よりパソコンでのやり取りが多くなった。

職員間のキャッチボールができる体制づくりを進めたい。職場内では、スキルアップやメン

タル的な研修を実施している。

### 地区振興補助金の税 収納率割は廃止すべ きだ

**Q** 地区振興補助金に町税の収納率を反映している。

地域が、収納率をあげることはできない。収納率の適用をやめるべきだ。

**A** 収納率の反映を24年度で緩和した。税の98%収納で100%の交付、完納で120%の交付率にした。2、3年は維持したい。

### 宝くじ助成の周知を

**Q** 宝くじの収益金を活用したコミュニティ施設の助成制度がある。公民館の整備などの要望にどう応えるか、公平感も大事であり、町民への周知が必要だ。

**A** 宝くじによるコミュニティ施設への助成は、毎年県内で2カ

所と限られていることから、表立ったPRはしていない。相談があれば対応したい。

新年度は横山公民館、一般コミュニティ事業では、下山の獅子舞が対象だ。

区長連絡協議会で説明したい。

### こんな意見も

● 地方公務員の給与を引き下げるため、地方の固有財源である地方交付税が、6200万円削減される。

地方は、平成16年度からの三位一体改革で行財政改革を進めてきた。

さらに給与費分を一方的に削減するやり方は、納得できない。



充実が求められる乳幼児保育



# 常任委員会

## 産業教育 常任委員会

### 鳥獣被害対策事業について

**Q** カラスやクマ、サルなどの有害鳥獣による被害対策事業の内容は。

**A** 有害鳥獣捕獲隊への活動支援を。

**Q** カラス対策では、光や音で追い払ったり、巣を撤去したりする。

**A** サルについては、墓ノ木から下山間の「はば」沿いに電気柵やネットを張るなどして、クマやイノシシも含めて、人里への侵入を阻止している。捕獲隊へは、パトロールを委託している。また、入隊奨励もしている。

### 青年就農給付金とは

**Q** 担い手育成事業の青年就農給付金とは、どのような内容か。

**A** 新規就農者の支援のため、青年就農者に対し、年間150万円を5年間にわたり支給する。平成25年度は4人分の予算をみた。

### 町営バスのあり方は

**Q** 「のらんマイ・カー」の事業趣旨が違ってきたのではないか。

**A** 交通弱者や買物客の支援目的が、通学者や通勤者用になつたのでは。路線のない地域では不公平との指摘もある。定期券導入は必要なのか。また、デマンド運行の検討は。

**Q** デマンド運行へ移行するには、初期投資が大きくなる。

**A** 定期券の導入で、安く乗車できるようになり、より多くの町民に利用してもらいたい。

### バーデン明日の修繕費の内容は

**Q** バーデン明日の修繕に、工事費2580万円が予算化されている。修理箇所はどこか。

**A** バーデン明日の建物は老朽化している。

レストランの窓のサッシの二重化や、エレベーターの修理をする。

**Q** 設備の老朽は覚悟の上で購入したはずだ。理由にならない。考え方を考える必要があるのではないか。

**A** 壁や畳も古くなっていく。段階的に行うが、将来は大きな設備投資も必要だ。

### こんな意見も

● おいしい米づくりのためにはニカメイチュウの防除が大切だ。田んぼやあぜの野焼きも必要ではないか。

● 深層水の利用が少なくなっている。アワビ養殖も含め、活用施設全体のあり方を、抜本的に再検討してもよいのではないか。

● 老朽化した空き家を取り壊すと、固定資産税の評価額が上がるとの理由から、放置されている空き家も多い。

全国的な問題となっており、今後、町でも検討してほしい。



望まれる有害鳥獣対策



上掛け水車による発電実験（道俣用水）



谷口 一男 議員（アクセス入善）

## 平成25年度予算編成に向けての特徴は

**町長** 将来の安全・安心を確保し、子どもたちを主眼としての「未来創造予算」とした

**問** 「緊急経済対策」としての補正予算を受けた、24年度補正予算と25年度当初予算の整合性は。

**米澤町長** 「扇状地に水

と幸せがあふれるまち入善」の実現に向け、安全・安心を確保しながら、次の時代を担う子どもたちが、生き生きと暮らしていける事業に配分を図り「未来創造予算」として編成した。

補正予算との整合性は、「15カ月予算」の考えの下で「復興・防災対策」「成長による富の創出」「暮らしの安心・地域活性化」の3項目を重点分野として予算措置を講じている。

**問** 総合計画の遂行と「合併60周年」の年、将来に向けての主要課題は。

**町長** 少子・高齢化への

対応、人口増、定住化促進への対応、地域コミュニティの強化、郷土愛の醸成、安全・安心なまちづくり、地域資源を活かした産業や観光の振興、豊かな自然環境の保全、そして合併60周年への対応についても主要課題と位置付け編成した。

**問** 国は、7月からの公務員給与の削減を求め、交付税を減額してきた。職員給与の削減を考えているのか。

**町長** 交付税削減による財源不足については基金の取り崩しで対応したい。交付税は地方固有の財源であり、今回の手法は

地方自治の根幹にも関わる。給与削減は国からの強い要請である。取組まなかった場合の影響を考え、県内の自治体の動向を参考にし判断したい。

**問** 町債は補正も合わせて総額15億円を超えている。今後の財政状況をどう把握しているか。

**町長** 償還計画を踏まえて無理のない借り入れを行う。

交付税措置のある有利な町債を選択し、安定した財政運営が可能な予算規模とした。

### 電気エネルギーの地産地消の考えは

まちづくりにつながるように検討していく

**問** 「再生可能エネルギー

特別措置法」もスタートした。

民間資本を取り入れ、再生エネルギー100%地産地消に取組む考えは。

**林副町長** 平成21年に「地域新エネルギービジョン」を策定し、再生可能エネルギーの導入推進に取組んでいる。

公共施設での太陽光発電や風力発電施設の整備、一般家庭の太陽光発電導入への支援を行っている。

平成23年度から小水力発電の普及可能性について調査研究をし、新年度も継続する。

町全域でエネルギーを生み出し、利用するため、地域全体が協働して取組む体制や仕組みづくりを検討していく。





TPPにゆれる農業

北米自由貿易協定でメキシコ農家72%が経営破たん  
TPPについてどう認識しているか  
副町長 地域経済、町民生活に  
深刻な影響を与えるのなら反対

問 農家は「1俵3000円の輸入米が入ってくれば終わりだ」と言っている。  
メキシコでは、アメリカ

カ、カナダと結んだ自由貿易協定で大量の農産物が輸入され、農家の72%が経営破たんしている  
と、メキシコの大学が報告している。

米韓自由貿易協定で韓国には、アメリカ企業が運営する病院が進出し、韓国の定めた医療費の6〜7倍の医療費を得ているとのことだ。

町長は、TPPについてどう認識しているか。

副町長 農業、経済、町民生活に深刻な影響を及ぼすのであれば反対だ。情報把握に努め、状況によっては関係機関と連携を図り地域の実情を訴える。



松田 俊弘 議員 (日本共産党)

並行在来線の運行計画では県東部が置き去りか

不便になることを懸念改善を粘り強く求める

問 在来線や新幹線関連で、国が県に183億円支援することが明らかにされた。運賃は現行でスタートすべきだ。

快速列車も含め、泊止まりでなく糸魚川までの便を増やし、黒部止まりを泊まで伸ばすべきだ。

梅津企画財政課長 知事は、運賃値上げ抑制に努力すると述べている。

新潟方面へは泊での乗り換えが必要で、不便になることを懸念する。

黒部止まりの泊以東までの運行延伸も含め、粘り強く要望していく。

障害者にも利用しやすい町民会館や県道の歩道を

良い方法がないか方向性を検討したい

問 町民会館の出入口の回廊が駐車場から離れており、障害者が雨などに大変難儀している。

コスモホールでの障害者用トイレの設置と合わせ改善を検討すべきだ。

県道入善朝日線の市街地内の歩道は、車道との段差が大きく、狭くて傾斜が多い。抜本的な改善が必要だ。

堂徳教育委員会事務局長 町民会館については、どのような方法が良いのか、方向性を検討していきたい。新年度に女性用

トイレを改修する。

大角建設下水道課長 歩道について県では、周辺住民の協力が不可欠で、地域のまとまった意見を踏まえ検討していくとのこと。

育児休業時の保育所入所制限をどう改善するか

臨時職員の確保が困難確保の方法を模索する

問 2人目の子どもが生まれ、母親が育児休業に入ったら、上の子ども退所を求められることが、いまだに続いている。臨時職員が確保できず保育現場に負担がかかっているからだ。

どう対応するのか。草島総務課長 臨時職員の待遇改善に努めており、今後、確保の方法を模索していく。



サンウェルでの介護予防教室

## 高齢者の介護ボランティア参加ポイントで 介護保険料の軽減に 健康福祉課長 近隣市町の動向を見ながら検討する



九里 郁子 議員

**問** 高齢者が介護ボランティアに参加すること  
は、生きがいにもなり介  
護予防にもなる。たまた  
まポイントで介護保険料

に充てることもできる制  
度がある。検討してはど  
うか。

介護予防教室に参加し  
た人としなかった人では  
介護が必要になる割合に  
違いはあるか。

地域ぐるみで高齢者を  
支えると言うが、個人情  
報保護を理由に情報が適  
切に提供されていないの  
ではないか。

**小堀健康福祉課長** ポイ  
ント制度は、近隣市町の  
動向を見ながら検討する。  
平成23年度では、予防  
教室の参加者の介護認定  
率は、参加しなかった人  
の約半分で、効果がうか  
がえる。  
災害時要援護者台帳な

どは、町社協、民生・児  
童委員、地区社協会長と  
共有している。

生活保護基準引き下げ  
は住民の負担増になる

影響を懸念している

**問** 生活保護基準は、憲  
法が保障する最低生活水  
準の要だ。

基準の引き下げは、最  
低賃金を下げ、住民税の  
非課税基準や介護保険  
料、国保税、保育料、就  
学援助など低所得者の負  
担増になる。

どう認識しているか。  
10年間で、所得の低い  
世帯の収入はどう変化し

ているか。

**健康福祉課長** 基準の見  
直しは、生活困窮者の増  
加や医療、福祉、教育、  
税制など、住民生活への  
影響が懸念される。

この10年で年間収入、  
可処分所得ともに減少  
し、低所得世帯への影響  
はさらに大きい。

デマンド交通の検討を

先進地調査など  
進めたい

**問** 乗りたい場所や時間  
を予約し、バス停まで行  
かなくても乗れるデマン  
ドタクシーは、高齢者に  
とって利用しやすい。導  
入を検討しているか。  
介護予防教室などに参  
加するバス料金をバス運  
行経費に生かせないか。

**竹島農水商工課長** デマ

詐欺商法の被害防止を

啓発活動を積極的に  
行う

**問** 詐欺商法が横行して  
いる。町内の実態はどう  
か。

町民への啓発を強化す  
べきではないか。

**室住環境課長** 入善警  
察署管内では、1件当た  
りの被害額は約460万  
円である。町の消費相談  
窓口には、103件の相  
談が寄せられている。

今後も啓発活動に積極  
的に取り組んでいく。

医療機関開業に対する支援の制度化を

町長 地域医療の充実という視点に立って 支援する



食味と一等米比率向上をめざす土づくり

**問** 朝日町の病院が、本町へ移転新築する計画が示された。場当たりに支援するものではなく、一定のルールを作り支援すべきである。

**町長** 丸川病院が、入善町に移転したいとの申し出があった。地域医療を充実させ、町民の安全・安心を確保するためにも、病院の移転を受け入れたい。将来を見据えたルールを作り、支援したい。

**問** 移転に伴う今後のスケジュール、診療科目など病院の概要を示せ。

**町長** 青島地内への移転が希望で、関係機関や関係者と協議を進めている。来年の秋までには開業する予定である。診療疾患は脳神経疾

患、整形外科疾患、生活習慣病などで、病床数は48床である。通所・訪問リハビリのほか、24時間体制の訪問診療や訪問看護などの在宅医療も推進される。地域医療の重要な役割を担ってもらえると思う。

**問** 病院の移転に伴い、町内医療機関や新川医療圏などで、医師や看護師、技師など専門スタッフの確保が危惧される。

**町長** 医師会からも、看護師などスタッフの確保を懸念する声があった。看護師などの取り合いにならないよう、病院へ

は再三申し入れを行っている。

**一等米比率を高め、食味の向上を目指すブランド化を**

**問** 昨年は、一等米比率が低下し、農家所得に大きく影響した。食味に対する評価も高くない。

本町の一等米比率を高め、食味を向上させることが入善産米の評価を不動のものにする。その戦略はあるか。  
**農水商工課長** 土づくりの徹底、坪70株植えの推進などを呼び掛ける。これまでは、外観で評価される「一等米」の向上に重点を置いてきた。今後は食味向上と両立

させることで消費者を引き付ける武器にしたい。

**問** J Aみな穂が行う「とれたて入善産品お届け事業」は、J Aの組織を活用した弱い物弱者対策である。

取組みによっては高齢者の安否確認などにもつながる事業であり、積極的に支援すべきだ。  
**農水商工課長** J Aみな穂の直売所と加工拠点施設が連携し、地産地消と買い物支援の両面で行う商品の宅配事業である。新たな地域経済と町民サービスの展開という観点からも注目、期待されるものと考えている。配送車両や備品の購入、販売員の設置などに支援したい。



笹島 春人 議員





子どもたちが育てたサケの放流 (H24. 飯野小学校)

## 合併60周年「郷土愛の醸成」をどう進める

### 町長 郷土に誇りと愛着を持つ事業に重点化を図る

**問** 新年度で「郷土愛の醸成」を掲げているが、具体的に何をどう進めるのか。

**町長** 教育の場をはじめ

め、食文化や自然環境、特産品の活用などを通して、若い世代から郷土に誇りと愛着を持てるような事業に重点化を図る。具体的には「我が海と親しむ放流体験事業」「未来のトップアスリート育成事業」「入善こつつおう膳プロジェクト」「深層水あわび学校給食提供事業」のほか、ふるさとの自然や歴史、伝統を学ぶことにも積極的に取り組む。

また、合併60周年を契機に「生まれたて入善タイムスリップ事業」を計画しており、次年度以降も学校授業として取り組みたい。



鬼原 征彦 議員

### 職員定数と実数のかい離は 消防機関の定数減だけに

**問** 新川地域消防組合の設立に伴って、消防職員の身分は組合に移管されることから、職員実数は前年度対比19人減の236人になる。

職員定数条例は、平成17年に一部改正し、290人と定めて久しい。今回の条例改正によって264人としているが、実数とのかい離をどの様に考えているのか。

**総務課長** 今回の条例改正は、消防機関のみの定

数減である。今後、役場の事務量を算定し、必要な職員数を見極めた時点で、改めて条例改正の必要性について検討したい。

**問** 臨時職員の数が目立つ。住民サービスの最先端、人命を預かる保育士など、臨時職員が正規職員の職務を行っている。行政需要に見合った職員数は確保されているか。

**総務課長** 職員定員管理計画に基づき、非常に短期間で職員数を大幅に削減してきた。行政需要に見合った職員数の確保については、具体的な数値は把握できていない状況だ。

役場窓口や保育現場には、専門的な知識を有した正規職員を配置するのが本来あるべき姿だ。しかし、現状では臨時

職員に頼らざるを得ない。

### 避難所備蓄品の整備を 毛布の配備に取組む

**問** 集落単位での自主防災組織の編成は、防災訓練の実施方法などで、町も取組みに関わるべきだ。また、災害時における避難所の備蓄品について、一定水準の対策が必要だ。

**総務課長** 防災訓練の取り組み方として、今後は、集落単位での訓練に対する町の関わり方や、支援、指導のあり方、マニュアル化の必要性などについて検討したい。

避難所の備蓄品については、今年度から2カ年で、毛布を各50枚ずつ配備したい。

アベノミクスに対する期待感と  
 新年度を迎えるにあたっての所見を  
 町長 積極的な事業の前倒しにより  
 確実な総合計画事業の遂行を



拡幅の待たれる踏切 (田中)

**問** 補正を含んだ15カ月  
 予算は、閉塞感のある町  
 内景気に良い刺激を与え  
 るであろう。  
 新年度を迎えるにあた

つての所見を。  
**町長** 国・県の動きに呼  
 応し、補正と本予算を一  
 体的に取組んだ。

有利な財源の確保や事  
 業の前倒しを積極的に実  
 施し、幅広く町民経済へ  
 良い刺激を与えることに  
 より、地域経済の活性化  
 を図りたい。

**問** 大型工事を含めた公  
 共事業が例年以上に予想  
 される。

しかし、近年、事業の  
 繰り越しや工期の延長が  
 散見される。無理のない  
 計画的な発注をすべきと  
 思うが。

**町長** 集中して工事を発  
 注することは、施工業者



野島 浩 議員

の能力を超えることが懸  
 念される。

しかし、例年4、5月  
 は、仕事量の少なくなる  
 時期でもあり、発注を受  
 ける能力があるものと思  
 えている。

無理な受発注や工期の  
 延長は工事の品質低下だ  
 けでなく、町民財産の価  
 値を低下させることにも  
 なり、計画的な発注に努  
 めたい。

三セク会社へインフラ  
 整備交渉を  
 踏切改修や歩道の取り  
 付けなど交渉を検討

**問** 鉄道に関連する町内  
 のインフラ整備の交渉相

手は、JR西日本から町  
 も出資する三セク会社へ  
 と移行する。

鉄道の下を通るアン  
 ダー道路や踏切の拡幅、  
 通行量の多い踏切への歩  
 道レーンの設置も検討す  
 べきと思う。

三セク会社へ交渉して  
 はどうか。  
**建設下水道課長** 鉄道の  
 所管は国交省運輸局だ。

三セク会社になつて  
 も、10年程度は、JR西  
 日本の技術者の出向によ  
 り管理されるため、JR  
 の方針が踏襲される。

アンダー道路の拡幅  
 は、巨額な費用も必要  
 で、費用対効果の面でも  
 難しいと予想される。

踏切は、町内に大小合  
 わせて15カ所ある。中で  
 も「下飯野踏切」につい  
 ては、通学路でもあり、  
 緊急対策を要する踏切と  
 して、国から指定を受け  
 ている。

現在、県は歩道の設置  
 に向けて、JRと協議を  
 進めている。

県内の北陸本線では、  
 歩道設置済みの踏切道は  
 十数カ所ある。

田中、君島、古黒部、  
 西入善駅新村踏切につい  
 ても地元からの要望もあ  
 り、拡幅改修について三  
 セク会社との交渉を検討  
 したい。



照明が取り付けられた横断地下道

## 町長 可能な限りの保育を実施する

### 育児休業に入ると入所児が退所を求められる改善すべきだ



大橋 美椰子 議員

**問** 母親が育児休業になると、入所中の3歳未満の兄や姉に、保育所中途退所を求められる。改善すべきだ。

**町長** 町保育所条例で保

育の実施基準を定めて取り組んでいる。

女性の社会進出・就業形態の多様化など、社会環境は大きく変化している。

保育所の入所判定には家庭の事情などをよく把握したうえで、法の定めにより、可能な限り保育を実施する。

**臨時保育士募集で保育士の確保ができるのか**  
**待遇改善、保育体制の検討などで確保する**

**問** 町広報に臨時保育士募集とある。臨時雇用で確保できるのか。

正職との賃金の差が大

きい。臨時保育士の離職防止のために待遇の改善を。

**町長** 町では1000人余りの保育士が必要で、正職員は65人。

不足は臨時保育士で補っており、待遇改善も含め保育士の確保に努めたい。

**通学路の緊急総点検対策箇所を示せ**  
**必要箇所は26カ所、5カ所対策済み**

**問** 昨年、通学路の緊急総点検を実施されたが、対策の状況はどうか。

**建設下水道課長** 対策の必要箇所は26カ所。今年

度実施箇所は9カ所である。うち5カ所で、道路照明や減速マークの設置、路肩側溝の損傷の補修などは対策済みである。残り4カ所は事業継続中。

踏切内や県道、あるいは交通標識などは関係機関と協議を進めている。

**橋梁長寿命化修繕25年度実施計画を示せ**  
**緊急性・重要性の高い2つの橋の工事を行う**

**問** 昨年度、15m以上の5カ所の橋について調査・補修設計を行った。今年度は、2カ所の改修が予定されているが、内容を示されたい。

**建設下水道課長** 町では

橋の長さが15m以上の6つの橋の点検を行った。うち一つは健全度が高く補修対象からはずした。5つの橋については「比較的健全である」との結果であった。

国は、老朽化が進み損傷の度合いが大きくなつてから対応を行う「事後保全的」な対策ではなく、架け替えや大規模な補修に至る前に対策を実施する「予防保全的」への政策の転換を図っている。

25年度では緊急性・重要性の高い町道上今江西中線の「舟川橋」と、舟見水口線の「新左近橋」の補修工事を行う計画としている。





春のイベント「フラワーロード」(H24)

## 入善町観光物産協会（仮称）設立の経緯は

町長

北陸新幹線開業を控え、

民間主導の組織化が必要

問 入善町観光物産協会

（仮称）が設立される

が、経緯と主な事業は。

町長 入善町観光関係団体連絡協議会として観光

振興策を講じてきた。

北陸新幹線開業を控

え、民間主導の組織化が

必要と考える。

主な事業は入善桜まつ

り、フラワーロードや深

層水ふれあいデーなど

の特産品のPR活動だ。

町の観光資源や入善

ジャンボ西瓜、チューリッ

プなどの特産品を通じた

PRの重要性を考えた。

フラワーロードは予算に見合った事業か

CMや広告でイメージアップを

問 フラワーロードの予

算が増額されている。

予算に見合った事業と



佐藤 一仁 議員

なっているか。町のイメー

ジアップやPRに効果を

上げているか。

町長 今年、町合併60

周年記念事業として予算

を増額した。新川観光圏

事業の「にいかわ食と花

めぐり」も同時開催し、

ライトアップもする。

近年は、3万人から4

万人を超える来場者だ。

消雪設備リフレッシュ化で地元負担軽減を

国の補助事業を活用し取組む

問 町道や県道の消雪設

備の老朽化が見受けられ

る。改修計画は。

建設下水道課長 昭和50

年代後半からの設備であり、老朽化に伴い、複数の地区から改修要望が出ている。

今年度で計画を立て、更新していく。

問 消雪設備のリフレッ

シュ化を推進すべきだ。

また、地元負担増とな

らないような方策はある

か。県道の設備への接続

は可能か。

建設下水道課長 国の補

助事業を活用し、更新事

業に取組む。

新設時の地元負担率が

20%に対し、更新事業で

は5%としており負担軽

減につながる。

県道への接続は、いろ

いろな課題があり協議を

要する。県と協定を結び

利用した例もあるので検

討する。

海岸防災林で人家密集地帯の塩害対策を

県単独事業での整備を働きかけている

問 沿岸部の人家密集地帯にも、海岸防災林の整備を。

建設下水道課長 海岸防

災林事業は、強風や塩害

から農地や居住地を守る

事業だ。人家の密集した

場所でも可能だ。

町海岸線約7kmの計画

で、約5kmの整備が済ん

だ。

平成18年の県の視察で

は、横山・八幡地区は国

事業での整備は困難だと

の指摘を受けた。

県単独事業での整備を

働きかけている。

# 入善の祭り

## 横山の春祭り

(諏訪社)

横山の諏訪社の祭りは、春(4月)と秋(10月)の年2回行われます。

かつては2日間にわたり、お神輿が家々をご巡幸し、神主のお祓いを受けていました。近年では、春祭りのみのご巡幸となり、秋は班ごとにとまって、お祓いを受けるようになりました。

### 賑やかな春祭り

北洋サケ・マス漁が華やかな頃は、船主や乗組員も多く、祭りは出漁前の3月に行われていました。2月末頃から始まるサケ・マス漁の漁網づくりの様子は、横山の風物詩となっていました。

春祭りでは、漁師も農家も一緒になって賑やかに祝い、大漁や豊作を祈ったものです。

春祭りが終わり、漁師

たちがそろって北海道へ出かけてしまうと、地区の中が急に寂しくなりました。

### 横山の「だせ」

横山の祭りには、お神輿を担いで練り歩く時に唄う「だせ」のうたがあります。

昔は、祭り初日の夜になると、提燈に明かりの灯ったお神輿を若い衆が担ぎ出し、「だせ」を唄い、ヨイヤサーヨイヤサー

ヤサーの掛け声と共に、夜遅くまで練り歩きました。大人にも子どもにも、それは勇壮で力強く、幽玄さをも感じたものです。

2日目の諏訪社への宮入りにも、鳥居の前で「だせ」を唄い、祭りの終わりを惜しむかのように、長い時間をかけて、お神輿をお返ししたそうです。



沖合いの社跡に向かって参拝

ハアー

明日はお立ちか  
お名残惜しや

雨の十日も

降ればよい

ヨイヤサー

ヨイヤサー

ハアー

送りましょうか  
送られましょうか

せめて諏訪社の

宮までも

ヨイヤサー

ヨイヤサー

哀愁を帯びた

「だせ」のうたは、40番にもなりますが、現在では唄える人も少なくなりました。

ました。

昭和51年の春祭りに、青年会の有志が、棚山地区の世話になって、一時途絶えていた獅子舞や天狗舞の復活にこぎつけました。

近年は2年に一度、ご巡幸と一緒に、1年生と2年生の小天狗たちを引き連れて、家々で踊りを披露し、子どもたちへのお菓子などをいただきます。

「御花」の口上をのべ、「ごっつお〜ごっつお〜」とお礼をして引き揚げます。

桜の季節の横山諏訪社の春祭りです。ぜひ、見学して下さい。



大天狗の猩々舞

### 編集の窓

4月は1年で最もワクワクする月だと思います。

何といつてもピカピカの1年生、ランドセル姿はほえましい光景です。子どもたちの成長は、自分の年も忘れて楽しくなります。

国が発表した2040年の将来人口推計で、わが町の人口は2万人を割るとの報道がありました。

人口減少、少子高齢化の進展など、厳しい課題ばかりですが、議会としても子育て支援、若者の定着、地域コミュニティの推進など、地域の活力創造に意欲を持って取り組めます。

#### 議会広報編集特別委員会

議長	長田 武志
委員長	中瀬 範幸
副委員長	松田 俊弘
委員	鬼原 征彦
〃	佐藤 一仁
〃	笹島 春人
〃	野島 浩